

## 各期限定の主な展示資料

会 期 【2021年7月18日(日)～9月26日(日)】

	【1期】 7月18日(日)～ 8月1日(日)	【2期】 8月3日(火)～ 8月15日(日)	【3期】 8月17日(火)～ 8月29日(日)	【4期】 8月31日(火)～ 9月12日(日)	【5期】 9月14日(火)～ 9月26日(日)
各期のテーマ	<b>文章への道</b> 漱石との出会い	<b>戦 争</b> 記録と記憶	<b>阿房列車</b> 乗り物への憧憬	<b>随筆色々</b> 戦後の活躍	<b>文章の道</b> 弟子たちに示したものととは
特別展示 コーナー  《1階》 中央ケース	《少年期から青年期》  夏目漱石への私淑、 中学時代の 『文章世界』への投稿、 俳句との出会い など	《戦中・戦後の暮らしぶり》  『新方丈記』から 『東京焼尽』にいたるまで	《戦後の活躍1》  「阿房列車」を中心に 乗り物への思いをたどる	《戦後の活躍2》  戦後の住まい 「三疊御殿」での執筆、 「ノラや」、 『小説新潮』に 「百鬼園随筆」を連載	《文章の道を歩く覚悟とは》  弟子への助言、序文、 そして遺したものととは
俳句軸・ 色紙額  《1階》 壁面中央 右端	《色紙額》 「山鴉春立つ空に 乱れけり」 【初春(立春の頃)】	《軸》 「川鼠顔を干し居る 薊かな」 【晩春】  《軸》 「花柘榴大雨に明けて 白き空」 【中夏(陰暦5月)】	《色紙額》 「龜鳴くや……」 【三春(立春から立夏まで)】	《色紙額》 「丘に住ンデ秋雲長キ 午睡カナ」 【三秋(陰暦7-9月)】	《軸》 「夜寒さの買い物に行く 近所かな」 【晩秋】  《軸》 「涼々と水湧き出でぬ 海鼠切る」 【三冬(陰暦10-12月)】
—文章の道— 特別編 《1階》 壁面左側(ガラス戸前)	オリンピック		百間の終の樓家「三疊御殿」		編纂本の数々 谷中安規装釘本を中心に

※展示内容は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。